

今週の

いきもの広場

① ジョロウグモ

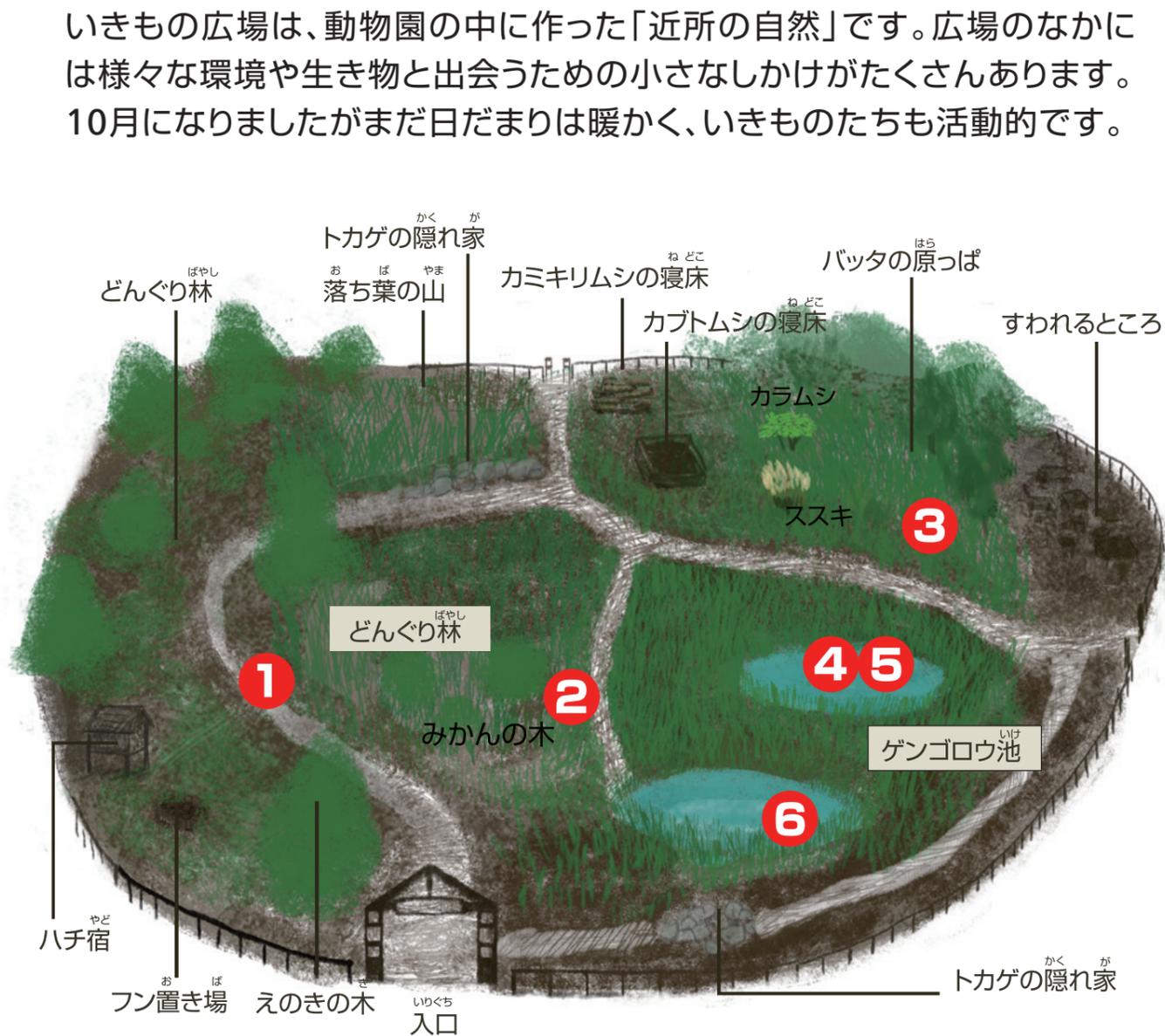


大きな巣が目立つようになりました。春に生まれた個体で、まだまだ成長中です。巣に居候している小さなクモ（矢印）はオス、大きなほうがメスです。

② ギンシャチホコの幼虫



矢印の部分が頭です。背中のとげのような突起が目をつけますが、じっとしていると、葉っぱの枯れた部分にそっくりです。



③ コバネイナゴ

チカラシバなどのイネ科の植物の葉の上で休んでいることが多いです。バッタの原っぱを歩くと、このコバネイナゴを始め、たくさんのバッタのなかまたちが飛び出てきます。



⑥ キタキチョウの幼虫



ネムノキやハギなどマメ科の植物の葉を食べます。秋に成虫（円）になるキタキチョウは、春になるまで植物の陰に隠れるなどして冬越しをします。

⑤ オオシオカラトンボのオス



池にある止まり木のまわりを飛び、他のトンボやチョウなどが来ると追い返します。池の中では、ヤゴが成長しています。

④ コノシメトンボ

オオシオカラトンボよりもひと回り小さい体つきですが、負けず追い返す時もあります。羽先の茶色模様が特徴で、さらに腹部が赤くなるのはオスだけです。よく似た種類にノシメトンボがいますが、こちらは赤くなりません。

